

## 3月の天候

2021年（令和3年）3月の日本の天候は、北・東・西日本の気温は記録的に高くなりました。降水量は北日本太平洋側でかなり多く、東日本太平洋側で多くなりました。西日本日本海側の日照時間はかなり多くなりました。沖縄・奄美では、降水量は少なく、日照時間はかなり多くなりました。

2021年（令和3年）3月の天候の特徴は以下のとおりです。

○北・東・西日本の気温は記録的に高くなりました  
北からの寒気の流れ込みは弱く、暖かい空気に覆われたため、気温は全国的にかなり高く、北・東・西日本では、1946年の統計開始以来3月として最も高い記録を更新しました。

○降水量は北日本太平洋側でかなり多く、東日本太平洋側で多くなりました  
低気圧が本州付近を発達しながらたびたび通過したため、降水量は、北日本太平洋側でかなり多く、東日本太平洋側で多くなりました。

○西日本日本海側の日照時間はかなり多くなりました  
移動性高気圧に覆われやすかったため、北日本から西日本の日照時間は東日本太平洋側を除いて多く、西日本日本海側ではかなり多くなりました。

○沖縄・奄美では、降水量は少なく、日照時間はかなり多くなりました  
湿った空気の影響を受けにくく、高気圧に覆われる日が多かったため、沖縄・奄美では降水量は少なく、日照時間はかなり多くなりました。

別紙（概況、統計値等）[PDF形式:1.62MB]

[https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko202103\\_besshi.pdf](https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko202103_besshi.pdf)

問合せ先：大気海洋部 観測整備計画課 担当 村井（観測値や記録について）  
電話 03-6758-3900（内線 4277） FAX 03-3434-9035  
大気海洋部 気候情報課 担当 大久保（天候の解説について）  
電話 03-6758-3900（内線 4577） FAX 03-3434-9123